

白石小学校だより

平成29年度 第11号 3月1日
山口市立白石小学校 児童数687人



めざす児童像

「あいさつがしっかりできる子ども」

「まわりの人がうれしくなることをする子ども」

「まわりの人が困ることやいやがることを絶対にしない子ども」

～日本一笑顔の多い学校～



平成29年度も最後の月を迎えることとなりました。歳を重ねるごとに時が過ぎるのを速く感じます。一人ひとりの良さを伸ばし、子どもたちの夢の実現に向けた教育活動を展開すべく、全教職員で取り組んでまいりました。PTA広報紙「しらいし」の年間テーマにも「夢」を取り上げていただきました。保護者の皆様、地域の皆様のご支援、ご協力のなかで1年間が終わろうとしております。ありがとうございました。

2月13日（火）に白石小・白石中合同の第4回学校運営協議会が行われ、児童及び保護者の方にしていただいた学校評価結果や学校教職員の自己評価結果を基に、学校評価の総括と次年度への改善策を議題として取り上げていただきました。「学習指導」「生徒指導」「連携」「チャレンジ目標」「業務改善」それぞれの項目で、学校運営協議会委員の皆様から以下のようなご意見やご要望をいただきました。

- ・授業に関する質問の肯定率は高く、素晴らしい学習環境になっている。
- ・学習時の姿勢の意識化は取組が具体的で良い。
- ・ICTを取り入れた授業には課題がないか、検証をする必要はないか。
- ・登下校中のあいさつをよくしている。
- ・思いやりの心情を育成することは大切だが、へこたれない強い心情を育てていくことも大切。「善」それ以外は「悪」、「正」それ以外は「誤」ではないと思う。どのような環境でも社会でも生きていける、たくましい心を育てていくことも必要。
- ・いじめ対応は課題であり、全教職員の共通理解が必要である。
- ・地域に開かれた取組ができている。清掃活動やお祭り等、地域の行事に親子で参加している姿を見かけるようになった。
- ・図書室の蔵書や貸し出し冊数を増やしてほしいという要望に応えられると良い。
- ・「トイレが臭い」については、児童の掃除の工夫も必要だが、業者による清掃も必要。
- ・「本当に必要なことなのか」という視点で、行事等を見直してしても良いのではないか。

いただいたご意見やご要望の一部の紹介ではありますが、これらを真摯に受け止め、学校運営を全教職員で進めていきたいと考えております。

次年度に向けては、あいさつの活性化や人間関係づくりを特に重視して取り組みたいと考えております。あいさつの活性化については、児童が校内で行う委員会活動によるもの他、中学校や地域・保護者と連携した活動を模索していきたいです。また、人間関係づくりについては、従来のフリートークや縦割り班活動も奏功していると思われませんが、日々の授業の中で、「ペア学習」や「グループ学習」など積極的に取り入れることで、「他者との関わりの中で育まれる自己有用感から生じる自己肯定感」を児童がもてるようにしたいと考えております。読書活動の活性化も、継続して取り組んでいきたいと思っております。

一年のまとめの月を迎え、今月は卒業式や修了式があります。次年度の0学期も後半となりました。しっかりと次年度1学期につながるように、教職員一同がんばります。これからも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



校長 澄川忠男